

「授業備品」N065 H.30.5.21 「荒尾グッズ」

算数（2年）のグッズである。約22種類のグッズが授業前に貼ってあった。グッズで授業の様子が見える。グッズなし授業は、子供が主体的な授業が創れず、教師主体の授業となる。

◎熊本県荒尾第一小学校2年 西田由美先生の板書グッズ、ほぼ完成形の授業である。ビデオあり。

1 シラバス

2 キーワード

キーワード

す

ことば

しき

たて

よこ

ななめ

3 問題・資料の読み取り（見通し）

分 開 ち 求

気 考 調 ち

みとおし
かだいをつかむ
ひとりまなび
ペアがくしゅう
はんがくしゅう
まなびあい1
まなびあい2
まとめ
ふりかえり

4 めあて

めあて

④やく
⑤んたん
⑥いかく
⑦かりやすく
⑧つでも
つかえる

5 げんごわざ

・一人げんごわざ

・話し合いげんごわざ

してん

□で考えると・・・となりました。

かいしゃく

つまり〇〇ということですか。

6 一人学び

一人学び

7 学び合い

学び合い

おなじところ
ちがうところ
にているところ

8 まとめ

まとめ

9 振り返り

ふりかえり

きがついたこと
わかったこと
しらべてみたいこと
キーワードをつかう

*重要なポイント

1 見通し

答えの予想を立てる、前時までの学習との違い、前時に学んだことが使えそうだ、など、自力解決に向かう前に、何をどのようにしていけばいいのかを児童と確認する活動。グーグー確認をする。

2 課題設定

単元の計画（流れ）や本時の「付けるべき力」を活かし、できるだけ、短時間で行う。ただし、単元の学習問題づくりなど内容に寄っては、時間をかける場合にあり（社会科・理科や生活科など）。逆に、国語など単元計画が明らかな場合は、課題を提示しておく。